

## 千葉市基本計画（原案）総論に対する答申案（中間取りまとめ）

諮問された「千葉市基本計画（原案）」について審議した結果、以下の意見・要望について、原案の修正にあたり十分検討され、反映されるよう要望します。

### 総論

- 1 総論全体について、以下の観点から、計画の目的や位置づけが市民により明確に伝わるよう工夫すること。
  - (1) 平易かつ適切な文章やデータを用い、市民にとって分かりやすい記述とすること。
  - (2) 現行の基本計画や個別部門計画との関係性を明確にすること。
  - (3) SDGs の理念を総論の冒頭に記載するとともに、各施策との関連を明らかにするなど、本計画における位置づけをより明確にすること。
  - (4) 戦略的視点と、目指すべき都市構造や区の姿の関係など、各章の関係性を明確にすること。
- 2 千葉市の概況について、以下の観点から、より「千葉市ならではの」計画になるよう工夫すること。
  - (1) 千葉市の特徴や特性に関する記述を充実すること。
  - (2) 東京圏あるいは県内における千葉市の位置づけを明確にすること。
- 3 重要な社会変化について、以下の観点から、市民と課題認識を共有できるよう工夫すること。
  - (1) 人口減少を迎える中、転入者や交流人口の増加など、人口の維持・増加に関する視点を追加すること。
  - (2) 人口や地域活力の維持の視点から、外国人市民に関する記述を充実すること。
  - (3) 2050年脱炭素社会の実現に向けた市の姿勢を明確にすること。
- 4 まちづくりの基本方針について、以下の観点から、「みんな」でまちづくりを進める計画となるよう工夫すること。

- (1) 「みんなだめざす未来の千葉市」について、計画全体を通じて、市民をはじめとした多様な主体と共有できるよう、記述を工夫すること。
- (2) 地域・社会を支える担い手の育成など、教育の視点を追加すること。
- (3) 戦略的視点について、以下の点に留意し、記述を検討すること。
  - ・戦略的視点（2）について、時間や空間のゆとりにより、心身及び社会的に健康な市民生活が生み出されることに言及すること。
  - ・戦略的視点（3）について、市民の主体的なまちづくりへの参加や、市民と市とのパートナーシップの向上について言及すること。
  - ・戦略的視点（4）について、「挑戦都市」としてふさわしい記述とすること。
- (4) 目指すべき都市構造について、以下の点に留意し、記述を検討すること。
  - ・千葉市型コンパクト・プラス・ネットワークの構築にあたり、先端の情報通信技術の活用に関する記述を充実すること。
  - ・「みどり」について、山林と田園の特性や維持管理・保全の取組みが異なることを踏まえ、記述を工夫すること。
  - ・災害に強いまちづくりに関する記述を充実すること。
- (5) 目指すべき区の姿について、以下の点に留意し、記述を検討すること。
  - ・各区の特色や魅力に関する記述を充実すること。
  - ・区の課題や特色に応じた取組みの方向性に関する記述を充実すること。
- (6) まちづくりを進める力について、市民参加の視点に関する記述を充実すること。また、読み手が、自身も「多様な主体」の一人であることが伝わるよう、記述を工夫すること。

## 5 計画の推進について、以下の観点から、将来の変化にも対応できる計画となるよう工夫すること。

- (1) 具体的なデータに基づき、施策を企画・立案して計画を推進すること。
- (2) 将来を見通すことが困難になっていることを踏まえ、中長期的な視点とともに、変化に応じた柔軟な対応に関する視点を記述すること。